

ほし み 星を見よう!

2017年9月号

No.225

2017年9月7日発行

しろいしぶんか

白井市文化センター・プラネタリウム

〒270-1422 白井市復1148-8

TEL047-492-1125 Fax047-492-8016

e-mail: planet@center.shiroi.chiba.jp

URL: <http://www.center.shiroi.chiba.jp/planet/>

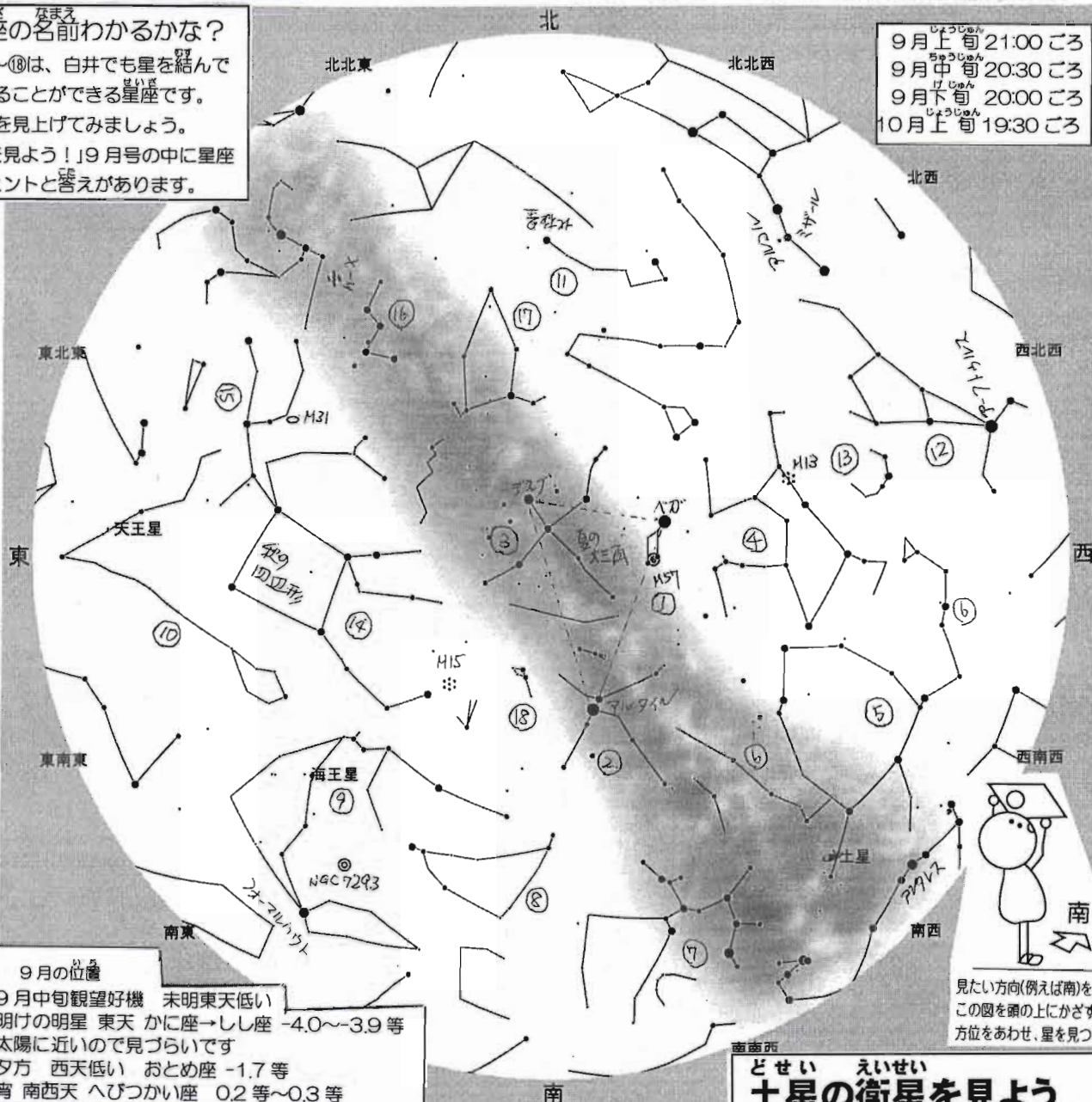
星座の名前わかるかな?

①~⑩は、白井でも星を結んでたどることができる星座です。

夜空を見上げてみましょう。

「星を見よう!」9月号の中に星座名のヒントと答えがあります。

9月上旬 21:00ごろ
9月中旬 20:30ごろ
9月下旬 20:00ごろ
10月上旬 19:30ごろ

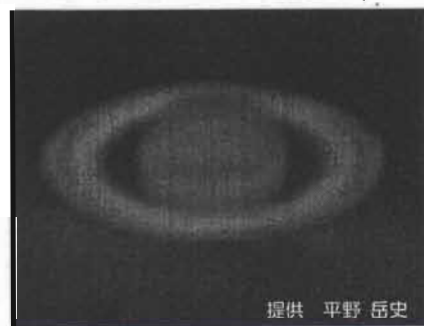


惑星 9月の位置

水星：9月中旬観望好機 未明東天低い
金星：明けの明星 東天 かに座→しし座 -4.0~-3.9等
火星：太陽に近いので見づらいです
木星：夕方 西天低い おとめ座 -1.7等
土星：宵 南西天 へびつかい座 0.2等~0.3等

見たい方向(例えば南)を向き、この図を頭の上にかざす。方位をあわせ、星を見つける。

どせい えいせい 土星の衛星を見よう



提供 平野 岳史

●タイタン

テティス
●ディオネ
レア

2017年9月30日 19:00の土星の衛星の位置
星図：ステラナビゲーターVer.10/瞬アストロアーツ/瞬アスキー

☆ロイヤルアワー 子ども向け授映 日曜日・9/23 秋分の日 11:30

ロイヤルアワーのお月さまへGO! 9/30まで /わかるかな?星座クイズ 10/1から

☆一般向け授映 土・日・祝 13:30/15:00

13:30 9/30まで FROM EARTH TO THE UNIVERSE~宇宙への旅

10/1から 温泉発!太陽系火山めぐり

15:00 星座ミュージアム 9/30まではくちょう座 / 10/1からペガサス座

☆昼間の星を見る会 9月30日(土)/10月28日(日)11:30~13:30 予約不要・無料

太陽表面などを観望。ご都合のよろしい時間にお越しください。雨天曇天中止

☆星を見る会 予約不要 対象:小学生以上(小学生は保護者同伴)

9月30日(土)18:30~19:45 受付:18:10~18:30 図書館棟3階窓口 次回は10月28日(土)17:30

実際の空で星座探し+望遠鏡で月、土星、海王星、環状星雲M13、リング星雲

稲を観望 観望前にはドーム内で星空解説があります

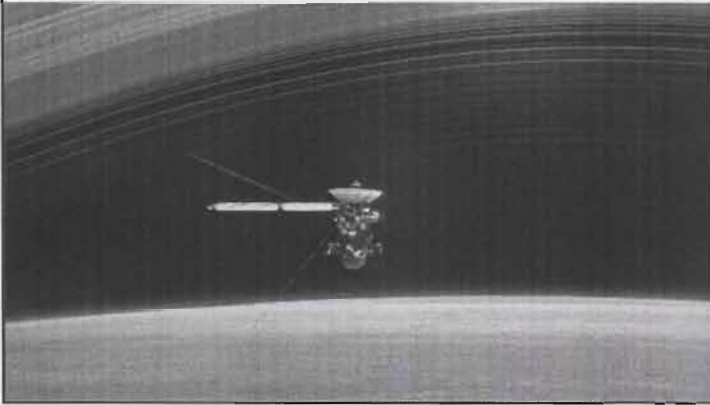
雨天曇天の場合はドーム内で約45分間の星空解説のみ 大人200円 子ども無料

☆プラネタリウムの休館日 毎週月曜日と年末年始 ※月曜日と重なる祝日(敬老の日)は休館

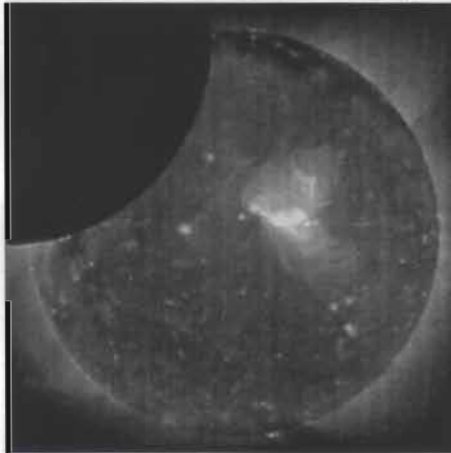
どせいたんさき さいど
土星探査機「カッシーニ」最期のミッションは9月15日

2004年7月の土星到達直後から「カッシーニ」は、①土星に季節の変化があること ②衛星タイタンが原始地球に似ていること ③衛星エンケラドスの氷の表面下には海があり、噴煙が噴出していることなど、数多くの発見を地球に送り続けてきました。

NASAは、カッシーニの燃料が少なくなっていることから、地上からコントロールできるうちに土星本体に突入させる方針をとりました。これは、固有微生物が存在する可能性のある衛星(タイタンやエンケラドスなど)との衝突を避け、カッシーニ内で生きていた地球の微生物が衛星を汚染して将来の研究を阻害しないための措置といわれています。9月15日のミッションは、土星大気圏に入って燃え尽きる最後の瞬間まで、データを地球に送信し続ける予定です。1997年に打ち上げられてから約20年の長きに渡る衛星が幕を閉じます。左図提供 NASA/esa



ンやエンケラドスなど)との衝突を避け、カッシーニ内で生きていた地球の微生物が衛星を汚染して将来の研究を阻害しないための措置といわれています。9月15日のミッションは、土星大気圏に入って燃え尽きる最後の瞬間まで、データを地球に送信し続ける予定です。1997年に打ち上げられてから約20年の長きに渡る衛星が幕を閉じます。左図提供 NASA/esa



たいようかんそくえいせい とら ぶぶんにつしよく
太陽観測衛星「ひので」が捉えた部分日食

8月22日、北アメリカ大陸を横断する皆既日食がありました。「ひので」はあいにく皆既日食帯には入っていませんでしたが、部分日食を撮影しました。(左写真 提供 JAXA 次回の皆既日食は2019年7月3日)

日本で見ること
 ができる皆既
 日食は2035年
 9月2日です。

星座ミュージアム はくちょう座 その2

はくちょう座の魅力ある天体などを解説しています。

はくちょう座 X-1 (はくちょう座の「くび星」の近く)

宇宙に数あるX線を出す天体の中で、はくちょう座で発見された最初のX線天体です。当初近くにあるHDE226868星(9等星)からX線が出ていられると思われていましたが、5.6日の周期で互いに回っている伴星から発せられていることがわかりました。伴星に向けてガスが流れ、その時、強いX線が観測されたのです。しかし、伴星の姿は見えず…

はくちょう座 X-1 は
 ブラックホールの最有力候補となりました。



はくちょう座 X-1 の想像図

じゅうせいれんせいてんたい
今月の見どころの重星連星天体

アルビレオ(はくちょう座) オレンジ色の3等、青色5等の星が寄り添うように輝きます。

こと座 ε 星 ダブルダブルスター

双眼鏡では二重星、望遠鏡で見ると四重星。二重星(ε 1、ε 2)のそれぞれがさらに二重星になっています。ε 1は5.0等と6.1等、ε 2は5.1等と5.4等の連星系。

いるか座 γ 星

黄色の4.3等と青色の5.2等の二重星。

ラスアルゲチ(ヘルクレス座)

大きさが太陽の約800倍といわれている赤色巨星。連星で、5.4等の伴星があります。

しろいメール配信サービスに登録しましょう!

- ◎文化センターイベント情報
- ◎コンサート情報
- ◎イベント講座情報
- イベントの前にメールが届きます。

